

防府市産業戦略本部 第2回会合 議事録等

■開催日時・場所

平成31年2月15日（金）午後4時00分から午後5時40分まで
防府市役所4号館3階第1会議室

■次第

1. 開 会
2. 議 事
 - (1) 平成31年度当初予算（案）の概要及び産業戦略本部関係予算概要について
 - (2) 産業戦略に関する意見交換
3. その他
4. 閉 会

■配布資料

	資料名	番号
1.	防府市産業戦略本部 本部委員名簿	【資料1】
2.	平成31年度当初予算（案）の概要（記者発表資料）	【資料2】
3.	産業戦略本部関係予算概要（抜粋）	【資料3】

■出席者名簿

敬称略・順不同

種別	所属団体・役職	名前	出欠	
本部長	防府市長	池田 豊	出席	
本 部 委 員	大企業	マツダ株式会社 防府工場 総務部長	黒瀬 智彦	出席
		株式会社ブリヂストン 防府工場 総務課長	後藤 淳	出席
		協和発酵バイオ株式会社 山口事業所防府 総務課長	岡崎 正敏	欠席
		東海カーボン株式会社 防府工場 研究所長 工場長	灰野 和義	出席
		株式会社丸久 代表取締役 副社長	清水 実	欠席
	中小企業	王子ゴム化成株式会社 執行役員 管理部長	末松 元成	欠席
		東山口信用金庫 本店 本店長	守田 誠	出席
		有限会社周防タクシー 総務部長	新原 耕由	出席
		アボンコーポレーション株式会社 代表取締役	松村 憲吾	出席
		光浦醸造工業株式会社 代表取締役	光浦 健太郎	出席
		原田株式会社 代表取締役	原田 栄造	欠席
		フラワースペース Co-co 代表	森本 幸代	出席
	関係団体	防府商工会議所 会頭	喜多村 誠	出席
		天神銀座商店街振興組合 理事長	坂本 恵次	出席
事 務 局	本部	総合政策部 部長	熊野 博之	
		産業振興部 部長	赤松 英明	
		土木都市建設部 理事	佐甲 裕史	
	庶務	総合政策部 部次長	能野 英人	
		総合政策部 部次長兼 総合政策課 課長	亀井 幸一	
		総合政策部総合政策課地域創生総合戦略室 室長	齊藤 忍	
		総合政策部総合政策課企画係 係長	末富 真一郎	
		総合政策部総合政策課企画係 主任	山本 幸志郎	
総合政策部総合政策課企画係 主任主事	渋谷 壮平			

■会議録

1. 開 会

市長挨拶

2. 本部委員紹介

(事務局から各本部委員の紹介)

3. 防府市産業戦略本部設置について及び国への要望事項の説明

(本部長から資料2、資料3を用いながら説明)

4. 防府市産業戦略本部設置について及び国への要望事項の説明

(産業振興部長から資料3を用いながら説明)

5. 各本部委員による意見

本部長 | それでは、まず中小企業支援の部分についてご意見を少し伺いたい。

A委員 | このセンターが経営課題を気軽に相談できる場所になることによって、いろいろな問題が解決できるのではないかと思う。敷居をなるべく低くして、誰でも入りやすいような雰囲気を作ってほしい。金融機関としても全面的に協力させていただきたい。また、このセンターが商店街の中心部にできることによって、空き家店舗の問題も解決できるのではないかと思う。それと、中小企業の方が必要とされる情報が、センターで一元化することによって非常に分かり易くなるのではないかと思っている。

B委員 | 今回こういった形でご支援いただけることは大変良かった。このサポートセンター設置は大変結構なことと思う。また、これが中心市街地を拠点としてということは結構なことである。三名体制ということで、センター長がキーマンだと思う。中央から大きな費用で専門家を連れてくるのも決して悪くないが、地域に明るくネットワークがあって、引き出しが多くて、そういう感覚の優れた人をお招きしてやっていきたい。商工会議所が運営中心ということで責任を感じているが、しっかり対応していきたい。

C委員 | 前回の会議のとき、私は他県で開催された中国、四国の商店街の大会に参加していた。そのとき、10年後の商店街ということをみんなで話し合った。10年後の商店街はどんな感じになっているだろうか。この流れの中で、次の若手、あるいは創業希望者を育てていくことが大事と思うので、センターが商店街の中で設置されるというのは、表に見えるし、「防府はこういうことを考えている」ということが的確にわかってよい。

それから、これから国・県・市の連携が本当に大事になってくると思っている。先般、県が東京で創業者あるいは起業家の方に山口県へおいでというイベントがあった。3人いたが残念ながら防府市はゼロだった。というのはやはり県と上手く連携がとれてないのではと思うが、自分としてもこれから上手く連携を取りながらやっていきたい。

また、商店街のイベント事業について。商店街単独でやるという力は今ほとんどない。組合員からお金を集めてもわずかで難しいので、こういう支援がいただけることでまた違ったアイデアが出てくるのではないかと考える。

それからもう一点、やはり創業支援とか街中のチャレンジショップは商店街の人がなにか絡む必要があると思う。商店街の者とともに一緒に育てようじゃないかと、こういう気持ちがないとうまく育たないので、創業者を探してきて創業したら終わりじゃなく、育てる、育てていくという気持ちがそれぞれにないといけないと思う。

本部長

C委員の方から国県市の連携ということがあった。これについては改めて肝に銘じてしっかりとやっていきたい。

D委員

いまC委員が仰ったとおりで、商店街を盛り上げていくというところで、商店街に拠点をおいてかつその方々を巻き込んで協力してやっていくということは正にその通りだと思った。ある意味会社の組織も一緒に、上がどれだけ煽っても下の者を巻き込まない限り動かないというところと非常に似ていると思い痛感した。

あと、足を延ばして防府へという観光のところも、非常に興味を持って聞かせていただいた。自然もあって観るべきところもあって、ただ人にここまで来てもらうのが難しいというのは防府の特徴なのか、私自身は防府市に住み始めてまだ1年だが非常にもつたいないと思う。産業と併せて観光による外からの人の流れが出来ることが、防府市が益々繁栄していく流れになっていき、それがまた商店街のほうにも反映されていくということになるのではないかと考えて話を伺わせていただいた。

本部長

観光にもしっかり力を入れていきたいと思うし、この間コンベンション協会の会長とも話をした。一番になると何かというと国分寺で、創建から動いてないお寺は一つだけだと。阿弥陀寺は二つの仁王像と仁王門があり、天満宮は三天神だと。もう一つはなにかと思ったら毛利博物館に四つ国宝があるということで、一、二、三、四で繋がっているという話をしたが、防府は奈良時代からずっと経験できるという、2時間で時代を堪能できるまちだということを使った。空いた時間に奈良時代から最後には明治まで毛利邸があるので申し上げたが、発想の転換をしながらこれからも観光にも力を入れていきたいと思っている。

E委員

中小企業の方のサポートに特化した形で色々お話があがっていたが、我々はカテゴリーが違ってやはり中小企業にかける期待は大きいし、我々の工場の中にも協力企業もおられる。我々の本業が浮き沈みあるときは協力企業さんも本当に頑張ってやってくれている。そういう方々が安心して会社を構えて、新しい方をどんどん入社させられるような企業になって欲しい。我々本体だけではどうしてもサポートできない部分もあるので、そういうところにあって非常によいアイデアだと思う。それと、優秀な業者さんがたくさんいれば本当に防府のまちがよくなっていくと思っているので、C委員が言われたように、将来像を描いていく時期なのかなと思っている。我々の会社も今まさにそういう時期にある。ずっと旧態依然のままで来ているが、やはり動かなくてはいけない。人のメンタリティはここにきてぐっと変わっており、これから卒業して会社に入ってく

る彼らのメンタリティは我々のメンタリティと比べると随分変わっている。そういう方々に一体どういう仕事をしてもらおうのかということを考えて我々もいろんなデザインを考えていけないといけないと思うが、ただ、そこは普段の生活についても一緒かなと思う。防府市の場合、土地はまだまだポテンシャルを持った部分もあるし、いろんな特産物もある。ロケーションも山あり海ありで、ただ海の部分は、レジャーという意味では活かしきれていないのではないかなと思う。

本部長

10年後の将来像ということがあったが、今の市の総合計画が32年度までなので、その後新しい計画を作る。来年度それを基に、公共施設整備の在り方、文福や小学校施設、そして道路整備の在り方をしっかりと、中心市街地や通学路といった大きな課題をどのようにすればいいかということをお客様の意見も伺いながら、いくらお金がかかるかということもやって、どこまでできるか示しながらやっていきたい。それを次の総合計画にきちんと位置付けたい。あと次の総合計画について私は厚いものを作る気は全くない。実行計画的なもので何年に何をやるということをしてできるだけお示しする形で、次の計画は非常に薄いものとしてなるべく今そのようにして具体的に1ページ1ページ中身の濃い計画になるよう市役所あげて、来年から作業に入りたいと思っている。

F委員

公共施設の件について、質問というか意見として、2月22日に県道防府環状線が開通するにあたって、地域住民の不安が大きいということをお知らせしたい。昔は国道だったが道幅が狭く、牟礼幼稚園、保育園、牟礼南小学校の通学路になっているというものもあるし、あと東山口信用金庫が幼稚園の隣にあるので年金の受給日はあの道が大混雑する。22日になってみないとわからないが、たとえば警察の方が何人か立っていただくなど、交通整理とか安全策はどうなっているのかという不安はある。

本部長

県道のことなので私が述べる立場にないかもしれないが、実は昨年、早く開通しようという話があった。しかし今委員が仰ったような不安があって、県が説明会をやってからいろんなニーズに応じることによって、開通が年を越したというふうに向っている。私も近くに住んでいるが、22日以降何かあれば、警察に言うことは警察にお願いし、また県に言うべきことは県に言っていきたいと思っている。

F委員

観光客や移住という件で一つ感じたことがあり、防府市内の交通標識が海外、外国向けのものが少ないと思っている。もちろん来年のオリンピックというものもあるが、今はどちらかというと働き手として海外の方に来ていただきたいというのを重点に置いたときにちょっと外国語表示が少ないのではないかな。商業施設にしる、観光地にしる、英語が何とかという感じだが、やはり自国の言葉が少しでも書いてあると皆様安心するということはあるので、公共施設の工事などが着工される場合はやはり標識も、もう少し何とかならないかなというのは心に思っている。

本部長

新しい施設のときは当然しなくてはいけないとは思っている。ただ、働き手の方、観光客とで国が違うということもあるので、施設に応じてどういう方が使われるかということをお考えなければならない。今回、150万円の事業であるが、海外からの方々の言

葉で「防府のゴミ出しはこうですよ」とかいうのはしようと思っている。また、観光客は対応としてしっかりやっていかなければいけないし、今回、表示がどうなっているかという調査を新年度していこうとしている。そうした中でどういう施設にどういったものがあるかということは、コンベンション協会、観光現場の声も聞かなければいけないので、観光業界等と一緒に頑張ってしっかりとやっていきたいと思う。

G委員

先程のサポートセンターのアイデアはすごくいいとは思いますが、私は創業希望の方とかは基本的に20代とか30代とイメージしている。彼らはネイティブインターネット世代というか生まれた時からインターネットに囲まれて育っており、商店街にお店があってそこに来てというのはかなりハードルが高いと思うので、まずはそのウェブサイトを作って匿名でもいいから相談ができる形にしてはどうか。センター長に優秀な1人を置くのではなく、20名くらいの市内の相談員をインターネット上に常駐させて問い合わせがあればそれに長けた人がコメントしてというのをチャットの的に相談できる方が若い人たちにとっては寄りやすいと思う。

そのうえで、ある程度定着した状態になれば、改めて商店街とかそういう所に設置するほうがまずはコストも全くかからないし、「これはいけるな」と思えば逆にもっと予算をかけて大きいものを商店街に作るというやり方もできる。そういう小さく作って大きく育てるというほうが僕ら中小企業的なやり方というか、そのほうが創業者とかも感覚的にあうのではないかと思うし、まずはインターネット上での集客をしたほうが世界に出せるので、防府市の商店街だと本当に近くの人しか来られないが、防府へIターン、Uターンをした上でやりたいという方にとっては商店街に作るというのはもったいない気がする。

本部長

いろんなニーズがあり、県の方も今インターネットでよろず相談として10名ぐらい人がいらっしゃるので、そういう既存のものも使いながら、まずは今回チャレンジの一步を踏み出したということでご理解いただければと思う。

H委員

本日池田市長からいろんな内容をお話しいただいて、正直私の業界に関しては歓迎することがいっぱいあったと感じている。例えば広域の物流強化や観光のこと、交通の補助の事業などたくさん知ることができた。ただ、こういった事業はおそらく創業された方のご存知と思うが、今の会社を継いで二世三世となっている方の中には事業があること事体を知らない方もいると思うので、まずやはり企業の発展を願うのであればこういった事業をみんなに知ってもらうことが大切だと思う。特に若者はこういった事業があることを知らない方も多いと思うので、ぜひ知る機会を沢山作っていただきたいと思う。

本部長

県のときも、予算を作っても知らない人が多くて、なかなかどういったところにPRしたらいいのかということもあった。

ホームページでも、防府市のページはダメだねとかいいねとか言われるが、ダメだねと言われる人はまだいい。防府を一応見てくださっているのです。それと一緒に、しっかりPRはしないといけないし、いろんなところで話をし、またそれが今日委員の方いらっしゃるが、その委員の皆様方がこんなことがあったというような話になればいい。そ

うすればまた市役所と市民の皆様、企業の皆様が近くなるし、そのような空気を作っていきたい。

I 委員

前回の会合があって素早くこういう形で具体的な政策に形としてなってきたのは大変ありがたいと思うし、そのスピードには素晴らしいものがあるなど思っている。前回は私の方からも企業の様々な資源を中小企業の皆様の、例えば人材育成であるとかそういう所に活かせたらという話もさせていただいたが、今回の産業振興に関する事業ということで、サポートセンターの設置という形を通じて、また具体的に前に進めることが出来そうだと思う。我々として何が具体的に提供できるのかという所について、しっかりと社内でも検討を進めていきたいと思うし、国と県と市の連携が大事という話が先程出たが、当社では国や県といろいろ連携をしながら教育事業など支援しているところだが、よく考えたら直接防府市と何か連携してということが今まで少なかったところもあるので、今回これを機に少しそういった形で具体的な実現に向けて貢献することができたらと思っている。

また広域物流の基盤整備というところにも具体的に取り組んでいただいているので、次は中心市街地をどのようにしていくかというところが市にとって一番大きなテーマなのかと思う。我々防府市に住んで防府市で働いてということを見ると、やはり住みよい住みやすいまちづくりに尽力いただきたいと思うし、いろんな形でなにかそれに対しての発言ができたらと思っている。

本部長

次の課題が中心市街地と今意見がでたが、次の総合計画に向けて来年度の4月以降に中で検討してそれを早く示さないといけないと思う。ただ、現場の意見をしっかりと聞いてしっかり話して、そしてスピード感をもってやっていこうと思っているのでよろしくお願ひしたい。

J 委員

資料の中の32ページ「産業の振興に関する事業」について、前回、県外に出たときに防府のことをなかなか「ほうふ」と読んでもらえないという話を聞いて、「ほうふ」と読んでもらうにはやはり防府天満宮ではないかと考えた。そこで、防府天満宮の参拝人口を見ると年間80万人、大宰府が800万人らしいので1桁違う。これを80万人からせめて200万人にしていこうと目標を立てて、私たちは本業が鋳造なので鋳造で何かできることはないかということで、防府の鋳物記念館を天満宮の石段の間でやりたいと宮司さんに相談したところ賛同していただけたので、古民家をお借りして、防府の鋳物の歴史を伝える館兼体験コーナーをやってみようと思っている。参拝客がバスで止まって参拝して、そのままバスに乗って帰るのではなく、滞留していくところがあれば、それが今度中心市街地とかにつながっていけば盛り上がるのではないかと思う。

本部長

私もやはり防府にとって天満宮が一番中心だと思っているので、防府天満宮を利用すべきだと思っている。その中で今回、すこしでもその天満宮の近くということで、山頭火ふるさと館を4月から無料にしたい。無料にして、市民の皆さんが「人が来たらふるさと館に行こう」となってついでに天満宮に行ったりうめてらすで買ったりしてもらえるのではないかと考えて、今回議会の方にそういう議案を出させていただくこととして

いる。

A委員

企業誘致について、市では奨励制度とか利用して企業誘致を進められていると思うが、テクノタウンなど今企業の方は労働力不足である。AIとか合理化を進めているが、企業誘致をしていただくときは、雇用に連動しやすいとか、雇用が生まれるような奨励制度を用意して誘致していただけるとありがたい。

本部長

企業誘致は時代とともに変わってきているが、しっかりとそういう中で取り組んでいきたい。

B委員

労働力不足というのは非常に深刻だと思う。企業誘致も進めてどんどん防府に進出してほしいが、人も連れてきてくれたらいいのに進出した企業に労働力を取られてしまうという問題があり、結局人の取り合いみたいになっているので、雇用奨励金みたいなものがあるとありがたい。人を採用するためにはまずその採用コストがものすごくかかる。教育もしなくてはいけないし、どこの企業でも新たに拡大して雇用するということに対しては今までより遥かにコストがかかるので、そういった意味で応援をしていただくと大変ありがたいと思う。

あとは、さきほど話があったが、防府の発信力を高めて知名度を挙げて、企業にも来てもらう、あるいは観光も来てもらう、というような総合力を作っていくってことだと思う。その中で企業誘致、あるいは雇用の奨励をしていただくとありがたい。

本部長

企業誘致や奨励金の話があったが、今後見直すことがあれば、そういうものをしっかりと踏まえていきたい。

C委員

先程市長からお話があったように行政の核とか位置はきちっと決まったということで発表されたが、やはりその行政の核あるいは商業の核、観光の核というのがあろうと思う。観光の核は天満宮中心とした考えが出てくるだろうが、商業の核というのはコンパクトなまちづくりだろうと思う。そう考えながら密度を濃くしていくためには、創業支援などを行う場所はやはり中心に求められるだろう。

あと、資料を見るとイベント事業の補助というのがあろう。私が小さいときには土曜夜市があつたり、商店街へ連れて行ってもらったりしたのが本当に心に残っている。これが定住につながるということもある。そこで商店街の役割を考えると、思い出作りではないかと思う。これから農業試験場も移動してくるが、6次産業化などを考えてみると1商店街でできる事業ではないので、そういう思い出作りの部分が重要になってくると思う。

本部長

商店街の思い出作りということで土曜夜市の話も出たが、私もずっと松崎地区に住んでいる者として昔を思い出した。また農業試験場がこちらに来ることになったが、漁協の方も市と県も一緒になって、どうするかということも2年位かけてきちんとやろうと思っている。それでまた中心の方に何かできるかということも、頭の中の構想では進んでいるが、あと3年ちょっとあるので、その間に方向性を作って最後総合計画を作った

らいいなと思う。総合計画ができたときにはモノが走り出している形に、庁舎や農業試験場、道、水産も、夢だけは頭の中にあるが、ただ急ぐあまり拙速になってはいけないので、しっかり伺いながら、知恵を出しながら、皆さまの意見を聞きながらやっていきたい。

F委員

サポートセンターの設置の件で、主な業務内容の中にIT、IoT技術の活用、セミナーの開催というのがある。やはり今ではITやIoTは無視できないが、今の悩みとして、キャッシュレスについての情報がなかなかないので、そういった勉強会やセミナーをサポートセンターでやっていただければありがたい。

本部長

キャッシュレスについては非常に進んでいて、県の方で予算が何千万か組んであったが、それをしっかり防府でも取り入れながら、取り組んでいきたいと考えている。

まあ、キャッシュレスで振り込めるように税金や水道料金などもその方向にしているが、県の方もしっかり進めるようなので、防府市としても連携しながら、センターの方でもやっていこうと思う。

B委員

サポートセンターは大変ありがたいことだと思っているし、商工会議所の役割は重要。様々な業種のいろんな対応をするサポートセンターでなければいけないと思うし、しっかりと皆さまのアイデアや思いを聞きながら、頼りになるものを作らなきゃ意味がない。ちょっとした相談所ぐらいではやっぱりもったいないし、こういった形で予算をつけていただいたので、関連する機関とよく連携して、素晴らしいものを作るために、繰り返しになるが人選など責任をしっかりと全うするように努力したい。

本部長

サポートセンターについては、県と連携しながら進めていきたい。最初であれば少々
の修正はできると思うので、皆様からも意見を伺ってしっかりとした体制で整えていきたい。

今後もこの会でも個別にでも結構なので、意見をしっかり聞いて、判断させていただいて、スピード感をもって実行していきたい。そうした中で、国へ要望するもの、県へ要望するもの、自らやるもの、また一緒になってやるものがあると思うので、しっかりとやっていきたい。

最後になるが、当初予算の資料で最後の方に箇所図をつけている。農業関係、河川港湾関係、施設関係というふうに箇所図をつけているので、参考までに見ていただきたい。それから、今年は例の右田の災害からちょうど10年の節目を迎えるので、しっかりと訓練とかやろうと思う。今回国の制度も活用して、市が管理する河川についてはすべて浚渫をやろうと思っている。安心安全が第一ということで考えているのでどうかよろしくお願ひしたい。

閉会